

音楽とともに生きていくことが 日常となるまちを目指して

クラリネット奏者
河合 莉奈さん

ひとこと。

Vol.28

今月は、ふかがわふるさと大賞を受賞し、5月に東京都で開催された「第11回日本クラリネットコンクール」で最高位に輝いた、河合莉奈さんにお話を伺いました。

「最高位」受賞の舞台裏

コンクールはクラリネットの演奏技術を競う国内最高峰の大会です。本番は普段以上のことはできないと考えているので、期間中は二つの練習を大切にして準備を進めました。日々の積み重ねが本番につながり、その結果が「最高位」という形となり、うれしい気持ちでいっぱいです。

9歳の選択がくれた未来

クラリネットとの出会いは、NHK教育テレビ「ゆうがたクインテット」に出てくる人形が演奏するクラリネットの温かい音色に惹かれたことでした。その後、9歳の時に深川小学校のスクールバンドに入部し、クラリネットを始めま

した。当時は音が出ることが楽しく、平日は毎日学校に残って練習し、休日も学校で練習していました。9歳で始めたクラリネットは今年で14年目になります。高校生の頃は深川で就職とぼんやりと思っていた私が、音楽家の道に進むとは夢にも思っていませんでした。今こうして音楽とともに生きているのは、クラリネットがこの道へ導いてくれたからです。

「音でつながる」恩返し

今後は演奏家としてのキャリアを築きながら、地方出身の音楽家を志す学生とプロの音楽家のパイプ役となり、地域に音楽の魅力を届けたいと考えています。深川、そして北海道全体を音楽で活性化させたいです。東京では毎日のように演奏会が開かれ、音楽に触れる機会は豊富ですが、北海道ではプロのオーケストラを聴くためには札幌まで行かなければなりません。私自身、大学へ入学するまでプロの演奏を生で聴いたことがありませんでした。だからこそ、育ててもらった深川を「音楽とともに生きるま

ち」にしたいです。その感謝の気持ちを胸に、何事にも全力で取り組み、誰からも愛されるクラリネット奏者を目指します。

みなさんへ

そして子どもたちへ

「ただいま」と言える場所、それが深川です。帰ってくる場所があるから、辛いことがあつても頑張れます。最近では演奏会で帰郷する機会もあり、みなさんからの「素敵だったよ」、「また帰ってきてね」という言葉は、私の大きな原動力になっています。

音楽をやめようと思ったことはありましたが、好きだからこそ続けることができました。子どもたちには、やりたいうことを続けてほしいと思います。無謀に思えることでも、大きな夢への挑戦でも、まずはやってみてください。見守ってくれる人、助けてくれる人は必ずいます。まだ好きなことが見つからない人は、自分の気持ちに素直になって、色々なことに挑戦してみてください。これまで頑張ってきたことは、将来の自分を支えてくれるお守りになります。

ご厚志

(6/30まで)

道の駅ライスランドふかがわ
北海道技建株式会社 地域貢献活動として

消防施設整備資金▼水野稔さん 叙勲受章に際して

市立図書館(図書)▼匿名8人 社会福祉協議会▼笹原孝之さん

父孝一さん・母勝子さんの死去に際して▼今野幸子さん

夫正治さんの死去に際して▼嶋嶋紀勝さん 妻恵美子さんの死去に際して▼柴田睦子さん

夫昌迪さんの死去に際して▼中屋健二さん 母久代さんの死去に際して▼赤藤久美子さん

母松浦京子さんの死去に際して▼関口俊博さん 母厚子さんの死去に際して▼清野常男さん

妻良子さんの死去に際して▼三谷洋子さん 夫裕明さんの死去に際して▼松本弘子さん

夫豊さんの死去に際して▼山川輝子さん 夫巖さんの死去に際して▼櫻井尚美さん

母森田幸子さんの死去に際して

【順不同・団体などの敬称略】